

はびきの市民大学情報誌

はびきの市民大学だより

オータムコンサート&特別講義 開催

入場無料
自由席

今年度もオータムコンサート&特別講義を開催します。市内・市外問わず、どなたでも入場いただけます。

■日時 2025 年 10 月 18 日 (土) 開場:12 時 30 分 ■場所 LIC はびきのサムテックホール M

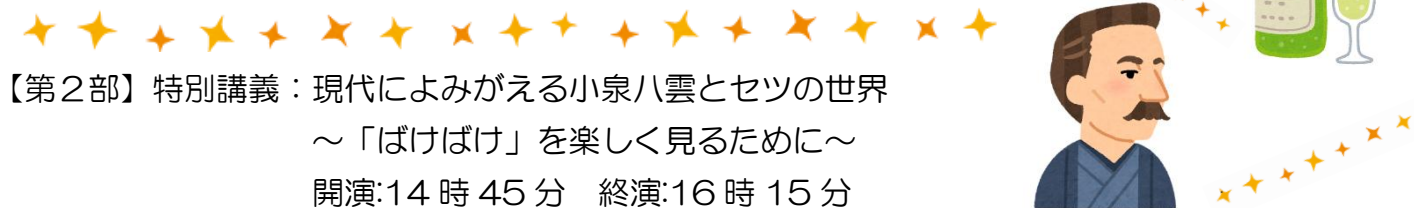
【第 1 部】大阪音楽大学専攻科生によるオータムコンサート：
～Bar Daion へようこそ！世界を巡るお酒と音楽～
開演:13 時 00 分 終演:14 時 00 分



大阪音楽大学音楽専攻科生 15 人が主体となって企画した今回のコンサートは、「世界のお酒」をテーマとしたプログラムです。舞台をバーに見立て、その国ならではのお酒と音楽をストーリー仕立てでご紹介いたします。ピアノや邦楽、管弦打楽器など異なる専攻の学生が力を合わせて、様々な音楽をお届けします。

紹介するお酒を想像しながら、音楽も一緒に味わってみませんか？
出演者一同、Bar Daion でお待ちしております！

曲目：・G. ホルスト/組曲「惑星」より「木星」・宮城道雄/浜木綿
・J. シュトラウス 2 世/喜歌劇「こうもり」より「シャンパンの歌」ほか



【第 2 部】特別講義：現代によみがえる小泉八雲とセツの世界

～「ばけばけ」を楽しく見るために～

開演:14 時 45 分 終演:16 時 15 分

「オープン・マインド」「五感力」「SDGs」「戦後 80 年」「『怪談』翻訳の広がり」と新しい芸術表現」、そして小泉セツが「朝ドラ」に…。そんなキーワードから現代社会と呼応する八雲文学の世界を探訪します。分断、対立の時代に、八雲とセツが紡いだ怪談文学にはくつなぎりの感覚>を見出すことができるのです。

〈講師〉 小泉八雲記念館館長、島根県立大学短期大学部名誉教授 小泉凡
1961 年東京生まれ。成城大学大学院で民俗学を専攻後、松江へ赴任。妖怪、怪談を切り口に、文化資源を発掘し観光・文化創造に生かす実践活動や、小泉八雲の「オープン・マインド」を社会に活かすプロジェクトを世界のゆかりの地で展開する。2022 年度全国日本学士会アカデミア賞を受賞。小泉八雲曾孫。主著に『怪談四代記―八雲のいたずら』（講談社）、『小泉八雲と妖怪』（玉川大学出版）ほか。小泉八雲記念館館長、焼津小泉八雲記念館名誉館長、島根県立大学短期大学部名誉教授。



同時開催！生涯学習フェスティバル！1 階アトリウム 10 時 00 分～16 時 00 分

【アートにふれる秋“つくる”ことからうまれる喜びや発見！】として、例年通り大学付属博物館等の案内をはじめ、今年は様々なジャンルのワークショップを 15 ブースに増し、初のフードコーナーも設けます。芸術・食欲の秋を堪能してみませんか？

サムテックホール M の入り口正面での開催です。ぜひ、お立ち寄りください。

学 長 コ ラ ム 【第 73 回】



河内厚郎
(はびきの市民大学学長)



高校野球の地方大会の開会式では選手が整然と入場行進するが、昨夏、某チームが、帽子を取って頭上にかざしたり、笑顔で手を振りながら歩くという、斬新な行進で注目された。「聖愛」と胸に書かれたユニホームには観客の視線が集まった。

今年、青森大会の開会式に先立ち、青森県高校野球連盟が加盟校に対し、手を振るなどの行為をせず入場行進するよう求めた。2013 年と 21 年、夏の甲子園に出場した弘前学院聖愛が、青森大会の開会式で、オリンピック式の自由で闊達なスタイルで行進したのを踏まえた対応だった。

同校の監督は「納得いかない部分はあるが、ダメだと言われると従うしかない」と本音を打ち明けた。

高校野球の入場行進といえば、全員が腕や足の動きをピタリと合わせ、「イチー、ニー」と行進するのが通例だが、01 年からチームを率いる監督は、この慣習に違和感を覚えていたという。

10 月の聴講のご案内

⑦ 金属、陶芸、布、ガラス素材を糧にした作り手の話【大阪芸術大学提携講座】 水曜 10:30～12:00

10/1	アメリカ現代ガラスへの挑戦	大阪芸術大学工芸学科 ガラス工芸コース 教授 学科長 山野宏
10/8	キルンワークの世界	大阪芸術大学工芸学科 ガラス工芸コース 准教授 木下良輔
10/15	染織表現の多様性	大阪芸術大学工芸学科 テキスタイル・染織コース 准教授 館正明

⑪ 現代の関西美術界【学長企画講座】 土曜 10:30～12:00

10/4	西洋美術の価値観の変遷と関西の現代美術動向	キュレーター・美術評論家・ 大阪芸術大学客員教授 加藤義夫
10/11	欧州留学の後、文楽絵画を描くようになった自分史	文楽絵師 下瀬翠 はびきの市民大学 学長 河内厚郎

■ 場 所 羽曳野市立生活文化情報センター(LICはびきの) 3階 視聴覚室

■ 申 込 来館、電話、FAX

■ 申込期間 当該講義日の1週間前から前日まで ※先着順。定員に達し次第、締め切りとなります。

■ 聴講料 1講義につき800円(当日1階市民大学カウンターにて支払い)

はびきの市民大学 〒583-0854 大阪府羽曳野市軽里 1 丁目 1 番 1 号 LIC はびきの内
【TEL】072-950-5503 / 【FAX】072-950-5650

受付 9 時 00 分～17 時 30 分(2 階学習情報室 9 時 30 分～16 時 30 分) ※閉室は祝日・振替休日・年末年始

※障害への配慮が必要な場合は事前にご相談ください。※駐車場(有料)には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
※情勢により、感染予防対策をお願いする場合がございます。ご理解、ご了承のほどお願いいたします。
※表記されている内容については予告なく変更になる場合がございます。

ご個人情報の取り扱いについて

- ご提出いただきました個人情報につきましては、個人情報の保護に関する法律に基づいて適切に管理いたします。また、株式会社みのりの里「個人情報保護方針」のもと適切な取り扱いを致します。
- ご提出いただきました個人情報は、はびきの市民大学事務局が主催する講座の運営、受講生募集を行う目的の範囲内で利用させていただきます。
- ご提出いただきました個人情報は、次の場合を除き、ご本人の同意なしに第三者に提供することはありません。
(1)講座実施にあたり、講座を担当する講師または講座委託会社を受講者のお名前、年代、性別、受講履歴を提供すること。
(2)公的機関からの法令に基づく照会を受けた場合。

はびきの市民大学

検索

